

令和7年度 第2回 早島町地域公共交通会議議事録

日時：令和8年2月5日（木）午後1時30分～3時30分

会場：早島町役場3階 全員協議会室

1. 開会

2. 町長挨拶

本日はご多忙のところ、早島町地域公共交通会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本町の公共交通行政の推進に、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、本会議は今回で第2回目となります。前回の会議では、地域公共交通計画の策定に向け、今後の進め方や考え方について共有させていただきました。本日はその流れを受け、より具体的な検討を進める段階として、昨年行いました公共交通アンケートのご報告とコミュニティバスの乗車調査についてご報告させていただきます。また、令和8年4月からのコミュニティバスの運行時刻変更についてもご協議いただきたいと思います。

特に公共交通アンケートにつきましては、町内の全世帯を対象として実施し、多くの町民の皆さまから貴重なご意見をお寄せいただきました。日常の移動に関する率直な声が反映された非常に重みのある資料であると受け止めております。

本日は、こうした町民の皆さまの声や、乗車調査による客観的なデータを踏まえながら、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。本日はどうぞよろしく願いいたします。

3. 議題

◇事務局

それでは、議事に移らせていただきます。まず、会議の成立についてご報告いたします。本日、「地域公共交通会議」にご出席いただきました委員は、13名中11名の出席となっております。過半数の委員の方にご出席いただいておりますので、早島町地域公共交通会議設置要綱第5条第3項の規定により、本会議が成立することをご報告させていただきます。

それでは、会長、議事運営をお願いいたします。

会 長：本日の次第をご確認いただきますと、議題として3つ挙がっております。1つが公共交通アンケートの結果、そして、乗車してのコミュニティバスでの調査結果、最後に、コミュニティバスの運行時刻改正の3点でございます。1番目につきましては非常にたくさんの方のアンケート調査、全戸に配布した非常に珍しいケースで、それぐらい力が入ったということかと思っております。そして、2番目につきましては現況をきちんと把握することによって非常に大事な条件、意識と現況を紹介していただくことになっております。それでは、早速ですが、議題(1)公共交通アンケートの結果について、事務局から説明をお願いいたします。

(1) 公共交通アンケートについて

〈事務局から資料について説明〉

◇質疑応答・意見

会 長：ありがとうございました。ただいまのご説明内容に対して、何かご意見・ご質問がございましたら、挙手にてお願いいたします。

委 員：素晴らしいアンケートのまとめで大変勉強になりました。ありがとうございました。私が不勉強で申し訳ないのですが、39 ページの新たな取り組みの中の家族サポートとはどういうものか教えていただけますでしょうか。

事 務 局：説明に不足がありまして申し訳ございませんでした。家族サポートというのは、アンケート用紙には記載はしていたのですが、事前に予約しておけば、学校から塾や習い事まで送ってくれるサービスということで、タクシーなどを使ってお子さんを塾などに送ってもらえるようなサービスです。横浜で実証実験をしていたと思います。

委 員：あともう一つ、私はこの早島町の歴史を知らなくて申し訳ないのですが、これだけ中庄駅に行きたいという声が多いことに驚いています。以前、中庄駅までバスが通っていた歴史があるのでしょうか。

事 務 局：ありがとうございます。中庄駅までのバスは 20 年ほど前にリムリンという民間事業者のバスが走っておりまして、ただ、そこまで長くは続かなかったとは聞いています。そういった背景もあって町民の方の中庄駅に行きたいという声があるというのと、国道 2 号線より北は生活圏が倉敷市の方が多いので中庄方面に行きたいという方が多いというふうに思っております。

会 長：ありがとうございます。他に何かご質問ございますか。

委 員：私は今までコミュニティバスに乗ったことがなかったので、一度、東コース・西コースに全部乗ってみました。あともう少しで中庄駅まで行けるのと思う反面、中庄まで行くとしたら、やはり無料は少し無理かなと思いました。また、通学や通勤の時間帯は中庄方面までは必要ないにしても、例えば、病院が開く時間の前後や買い物をしそうな行き帰りの時間の便を中庄方面までつなげられたら良いと思いました。また、町内の方と話していると、例えば早島駅からコミュニティバスでザグザグとかマルナカで買い物をした後、帰りはコミュニティバスだとすごく時間がかかるのでタクシーにしているという話を聞きます。行きは良いが、帰りについては問題もあるなと思いました。

会 長：ありがとうございます。ご自分で乗っていただいたの感想プラスアルファのご提案ということですが、事務局の方で何かございますか。

事 務 局：ありがとうございます。中庄までの移動の要望が多いということで具体的な施策につきましては、こういった交通手段があり、こういった時間帯に走らせるかというのは、今回のアンケートや乗車調査をもとに検討していけたらと考えております。また、駅の近くにお住まいの方が早島駅からバスに乗ってザグザグやマルナカで買い物をすると、帰りの便は一度コンベックスまで上がってから駅に向かうと

ということで、かなり遠回りになっているということは認識しております。今までそういったご意見を聞く機会がなかったのが、今回そういったご意見が聞けたということで、検討材料であり課題であると考えております。

会 長：ありがとうございました。中庄という具体的な目的地が出ているということと、行きと帰りでどのような問題があるかということが事務局の中でも考えていただく内容になると思いました。他に何かお気づきございますか。

専 門 員：設問の捉え方について確認ですが、スライド 24、26、28、30 あたりに、今後も公共交通を利用しないという回答が多く見られるという状況ですが、ここで言う公共交通は、バスと JR だけを想定されているのか、それともタクシーも含まれたいわゆる移動手段全てが想定されているのかどちらになるのでしょうか。捉え方によったら、バスや JR は使えないがタクシーは使うと回答の結果になっているのか、それとも、JR もバスもタクシーも使わないという回答の集計になっているのかということで、今後計画を策定するにあたっての基本的な考え方が変わってくるのではないかなというのが1つ確認したい点です。もう1点、今回早島町さんの方で調査されたアンケートがかなり細かく集計されて、すごいなと感心しているところですが、その中でもはっきり中庄駅への接続要望があるということで、私も事前に少し調べてみたところ、早島町の都市計画マスタープランにも検討するという記述が10年ぐらい前に出ております。10年前からこういうことがあったらいいなと町としては考えられていて、今回アンケート調査をしたことによってこれがより強固な要望になっているというところだと思うのですが、実際この10年たってもなお、実現に向けた具体的な検討がこれから始まるという中で、何か障壁や課題があるのではと思うのですが、事務局でもう既に把握していたら教えていただけたらと思います。

事 務 局：まず、1点目のアンケートの公共交通につきましては、設問の設定上、今後も公共交通（JR やバス）は利用しないということで、この中にはタクシーは含まれていません。2点目の中庄駅の接続要望につきましては、都市計画マスタープランにも確かに出ております。平成30年前後に具体的に中庄駅に行くような直行便を検討したことがあり、その際に倉敷市さんや民間のバス事業者さんにもヒアリングを行っておりました。倉敷市さんへのヒアリングについてはやはり無料バスを前提としていたためか、民業圧迫に繋がるので、あまりよろしくないというような回答を得ております。また、民間事業者さんの路線を作ってもらって走ってもらうということで協議はしていたのですが、やはり採算が取れないので、早島町側がバスも運転手の人件費も全て負担するのであれば運行はするということでした。ただ、その金額がかなり膨大だったので、実現には至っていないということになります。そういった検討を経て、タクシーチケットを新たに設定して、70歳以上の方につきましては申請をしたら1年間に1万2000円分のタクシーチケットを交付し、こちらを使って町外に行っていたらと制度が始まった経緯があります。以上になります。

専 門 員：過去にそういった形で倉敷市さんや民間バス事業者さんと調整されているということで、そのときは民業圧迫とか市の財政的な問題もやはりあったかと思うのですが、今回のアンケート調査の結果でもはっきり中庄駅に行きたいと約7割の方がお

っしゃっているという状況でもございますので、再度ご検討いただけたらと思います。倉敷市さんやタクシー事業者さんをお願いするのも良いのかなと思います。参考ですが、岡山市では妹尾駅から北長瀬駅までの支線バスを走らせており、イメージ的には同じようなものと思いますが、違うのが倉敷市をまたぐということもあります。そういったところも参考にしながら、ご検討いただければと思います。以上です。

会 長：自治体をまたぐのは県内いろんな事例が既に存在していますので、そのあたりも含めて検討していけばいいのかなと思っております。では他にございますか。

委 員：10 ページのスマートフォンの普及率については、どういう目的があって調べたのでしょうか。

事 務 局：ご質問ありがとうございます。一昨年実証実験した AI デマンド交通も含め、新しい交通ではスマートフォンから予約して乗っていただくのが全国的に流行しております。そういった施策を進める大前提として、スマートフォンを持っているかどうかをここで確認しております。

委 員：23 ページ、タクシーで通院する 201 人の通院頻度を平均すると、年間 40 日ぐらい行っていることになろうかと思えます。タクシーチケットの枚数は年間 48 枚で 1 回乗車につき 2 枚までだと全然足りないと思えます。一番困っている方、高齢の方や通院をされている方に手厚い補助をする必要があるのではないかと思います、いかがでしょうか。

会 長：はい、ありがとうございます。タクシーチケットの枚数とタクシーを使っている回数との間にギャップがあるのではというご指摘です。事務局から何かございますか。

事 務 局：ありがとうございます。タクシーチケットについては、75 歳以上の非課税世帯の方には現在年間 48 枚交付しております。ただ、この 48 枚で早島町が全ての移動を保障、補助するという考えで行っているわけではございません。48 枚のうち、1 回上限 2 枚ですが、使用回数が多い人は 1 回 1 枚でもいいですし、外出機会の支援として使っていただけたらと考えております。

会 長：ということですが、何かございますか。

委 員：追加資料で令和 6 年度のタクシー助成の利用率が 60%ということで、使っていない 40%の費用を必要な方に回すということも一つの考え方ではないかと思います。

委 員：ありがとうございます。今、タクシーチケット、コミュニティバス、また、60%以上の方が中庄駅の町外移動バスを希望しているということをもう 1 回見直しまして、この公共交通会議で議論いただき、まとめたいと思っております。タクシーチケットについても、65 歳以上の方の免許返納者と 75 歳以上の方皆さんに交付していますので、この辺りも見直しが必要かなと考えています。75 歳以上全員の方に交付するのではなく、障がい者の方々にフリーで使っていただくような形にするなども含め議論いただければと思っております。よろしく願いいたします。

会 長：ということで今ご意見いただいております。一方で、守備範囲をもう 1 回確認した方がいいのかなと思っております。いわゆる生活交通と呼ばれるもの、これはこどもから高齢の方まで皆さん使えるものですよという部分が一つあります。もう一つ

が高齢者あるいは障がい者福祉という世界がございます。今回のこのタクシーチケットに関して言うと 70 歳以上ということなので高齢者福祉の施策です。この交通会議の中でこの高齢者福祉を取り扱うかどうか、というのがまず一つあるのと、もう一つはその予算を混同しているとおそらくいろいろなところで不具合が出てくると感じております。各市町が作っている計画の中では、生活交通の話と障がい者福祉および高齢者福祉に該当する話は実は明確に分けています。生活交通の中で動くものと福祉の政策として動くものは、財源からして違うものとして考える必要があると思っております。早島町の中ではその辺りが混同して動いているというところがございまして、その守備範囲を明確にする必要があると思っております。どのような年間予算にするのか、どのような使い方にするのか、というのはやはり議論を分ける必要があると思っております。事務局どうでしょうか。

事務局：ご指摘ありがとうございます。おっしゃられる通り生活交通と福祉関係の交通は、全く別の考え方でいくべきと考えております。ただ、現状では予算を組むうえで、企画課がタクシーチケットとコミュニティバスを担当しているので、一体となっており、その辺りは見直しを考えていく必要があるのかなと思っております。

会長：非常に大事な話として捉えていただく必要があると思っております。その区分なしだといろんなところで実は失敗が出てきます。まずは、きちんと生活交通と福祉の方を区別して、そのうえでそれぞれ予算を組んで議論をしていかないと後で禍根を残すようなことになろうかと思っております。予算も含めて直せるタイミングで早急に何とかした方がいいかと思っております。他に何かございますか。

委員：中庄への路線だとか住民の利便性を重視しているのはすごくいいことだと思うのですが、それによって乗務員の負担や、昨今乗務員不足で減便を叫ばれている時代で、どこまでそれに対応できるのか。やはり中庄駅まで行ったときに、タクシーの方の仕事を食ってしまうのではないかと、事業者への影響もあるということは理解していただいて、コミュニティバスとタクシーのすみ分けをしていただきたいと思います。住民の利便性向上には、事業者にとってメリットとデメリットがあることをご理解いただければと思います。また、コミュニティバスがスタートした時は、こんなにバス停があったわけではなく、住民の要望に応え続けてここまで細分化されたバス停ができました。住民の意見に応えたことによってすごく乗務員の負担が増えたことも事実です。やはりできること、できないことは町として判断して明確にしていいただければと思います。

会長：ありがとうございました。大変重要なご指摘です。ぜひともバス会社、タクシー会社さんとも細かい話し合いをしながら進めていただければと思っておりました。事務局は今のご意見に対して何かございますか。

事務局：政策を進める上でももちろん協議は必要だと思っておますので、そのように進めさせていただきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

事務局：スライドの 26 ページ目になります。通勤でバスや JR を利用している方の希望が、早島駅の電車の本数・車両を増やしてほしいといった意見が一番多かったという結果だったのですが、こういったことは実現可能なのでしょうか。

委員：当然ご利用が多くなってくれば、まずは、増便の前に増結の可能性を検討するというのが一般論としてはあります。また、設備が許す範囲においては増便をして供給を増やすことも検討するというのが一般的な考え方であります。ただ、この瀬戸大橋線は、基本的にはほとんどの区間が単線であり、部分的に複線になっており行き違いをする形になっています。現状の瀬戸大橋は列車が走れる線路の容量が今かなりパンパンで走っていますので、これ以上列車の本数を増やすのが現実的にはなかなか難しいという課題も抱えているところであります。マリンライナーの停車要望含め様々なご要望・ご意見があることは JR としても当然承知していますが、瀬戸大橋線の特徴や周辺駅との兼ね合いなどもあり、なかなか簡単には実現の可否を申し上げにくいというのが悩みであります。もちろんご利用状況はつぶさに見ながら、少しでも改善できるところには着手していつている状況でございます。

事務局：ありがとうございます。もう一点だけ聞いてもよろしいでしょうか。今回、中庄方面の移動需要がかなり多かったという結果になりましたが、例えば、早島駅から中庄方面までバスを走らせる場合、これまで早島駅から中庄駅まで岡山駅経由で行っていた方がバスにシフトすることも懸念されると思っております。その場合、瀬戸大橋線の減便に繋がることになりそうですでしょうか。

委員：今の瀬戸大橋線のご利用のお客様の数全体を見たときに、早島駅を普段ご利用いただいている方の中の一部が中庄駅へのバス利用に転移したとしても、瀬戸大橋線のご利用の全体像からすれば、おそらくインパクトとしてはそこまで大きなことではないと思います。早島から岡山方面に通勤・通学いただいている方が圧倒的に多いです。

事務局：ありがとうございました。

委員：私も町民の1人としてこれだけのアンケートをして、結果に関してすごく期待をしたいと思います。アンケートの質問も素晴らしく、今までこういうアンケートがなかっただけに、何かすごく変わるのではないかと町民も期待していると思うのですが大丈夫でしょうか。

委員：ありがとうございます。中庄までの要望が多いのですが、やはり民間業者に圧をかけるようなやり方は良くないと思いますし、一方で町民の皆さんからこういうふうにご要望いただいているということで、その着地点を見つけるために公共交通会議があると思います。この会議で議論していただいて、提案が出てくれば努力はさせていただきます。ただ、100%実現するかどうかはこれからでございます。その辺りを今日お越しの皆さんにいろいろお知恵を拝借したいと思います。よろしく願いいたします。

会長：ありがとうございます。事務局も頑張って提案していただきたいし、やはり直接関係しそうなのは倉敷市あるいは事業者さんとの協議も出てくると思います。よろしく願いします。

委員：妹尾駅からバスを走らせていますが、障壁となるものはございましたでしょうか。簡単に結構ですのでご教示ください。

専門員：岡山市のFLAt（フラット）という愛称の支線バスを走らせる上で、倉敷と同じように、瀬戸大橋線と山陽線の行き来の要望があるので直通バス路線があった方が

いいのではというのがきっかけではありますが、それを実施するにあたってはやはりタクシー事業者さんやバス事業者さんの民業圧迫しないように検討をされると聞いております。さらに、それをアンケートの調査だけをもってやったわけではなく、岡山市の場合は、利便増進計画という、また別に計画を作って、その実現に向けて動いております。単に妹尾と北長瀬の線だけではなく、岡山市内その他のいろんな路線も含めて一つの計画を作り上げ、順番にやっていくというようなものです。アンケートや事業者さんの意見、委員の皆さんの意見も非常に大事な検討材料になります。先程、期待されているというお話がありましたが、まさにその期待を作っていくためのものが今後検討していただく交通計画というものになるのかと思います。決め付けではなくて、いろんな方の意見を聞いた上で交通計画、この中庄線は本当にやるのかどうかというのを検討していただければと思います。

委員：ありがとうございます。今後ともご教示ください。

会長：他に何かございますか。よろしいですか。では、次第の中で議事の(1)につきましてはここまでにしたいと思います。たくさんご意見いただいておりますので、まとめて事務局の方でまた検討を進めてください。では議事議題の(2)に参ります。事務局からご説明をお願いします。

(2) 乗車調査について

〈事務局から資料について説明〉

◇質疑応答・意見

会長：ただいまの説明に関しまして、何かご意見ご質問、お気づきございましたらお願いいたします。何かご意見ございますか。

委員：まず、3 ページ目の小学生の利用状況に関連してですが、小学校の校長先生に小学生がバスで通って良いのかと聞いたところ校長先生は徒歩での通学を推奨はしていますというお答えでした。6 ページの一般の利用状況をみますと、平均すると1 便につき3 名です。1 便に3 名しか乗らないのに大きなバスを走らせていいのかというのを今後考えていくべきではないかなと思います。

会長：ありがとうございます。小学生の人数、そして、今回3 日間取りましたけども、これが通常のイメージと合っているのかという話と、雨の日はまだ取れてないということですが、雨の日との関係がどうなのか事務局からいただけますでしょうか。

事務局：ご意見ありがとうございます。おっしゃられるように、乗車人数に応じたバスや自動車を活用していくのが一番良いと考えております。現状の平均で言うと、確かにそんなに数字は大きくないかもしれませんが、やはり通勤時間、特に朝の時間帯は14 人とかそのぐらい乗る日もあり、イレギュラーなときは20 人乗る日もあります。10 人乗り14 人乗りのハイエースでいけるかどうかというところの決断ができないような状態です。公共交通計画の策定に伴って検討していけたらと事務局として考

えています。

会 長：ありがとうございます。日によって変動が大きい場合、大きい方に合わせないと小さいやつでいくと続行便が出なきゃいけない。そうすると先ほどの乗務員の問題という話も出てきますので、もう少し長期的なデータを見ながら最終的に決断するのが良いかなと思いました。

委 員：朝に関してタクシーがコミュニティバスを追従するわけですよ。通勤者が乗れないこともありますので。住民の皆さんのご要望も当然ですが、ただ、今の運行状況では全くできません。運行が手一杯の状況です。我が社のタクシー利用は中庄が一番多く、その際に中庄への直行便があると良いというご意見が多いです。最終的には実証実験をしたデマンドの形でも良いので、やはりコンパクトなジャンボタクシー等を複数台数で巡回するのが一番良いと思います。コミュニティバスにあれだけの年間費用を割くのであれば、そのような形でコンパクトにやれば時間の遅れも出ませんし、住民の皆さんのご要望にもお応えできるのではないかと思います。今のように入島駅からコンベックスまでを一筆で巡回するやり方はもう考え方を変えないといけないと思います。また、昨日倉敷市とも乗合タクシーについて協議をしましたが、適正価格の事業者負担で運行することに同意していただきました。早島町の福祉タクシーチケットは町外の方にびっくりされます。早島町は高齢者福祉に関しては良いですが、現役世代のフォローができていないかというところがあると思います。会長のおっしゃるとおり、高齢者福祉と生活交通の区分はしっかりしないといけないと思います。

早島町は今事故が非常に増えています。松尾坂から早島駅に向かう押しボタン式信号のところが非常に危ないです。駅につながる道が優先ですが、川筋の道知らない人はノーブレーキで侵入します。コミュニティバスも急ブレーキを踏むことがあります。また、朝は特に混雑してマルナカの前の道路を西に言った信号で小浜の樋バス停方面への右折がなかなかできません。あくまで要望ですが、バス運転手の意見もありお伝えさせていただきました。

専 門 員：対策を検討したいと思います。

会 長：ありがとうございます。

委 員：運行事業者様にはお力添えいただいてコミュニティバスを運行しているのも重々承知しております。特に運転手の方も停留所が多すぎて、昼ご飯食べる時間もないようなお話も聞いております。これから本当の意味でこの公共交通会議で議論していただきたいと思います。早島タクシーさんと澤田交通さんのご協力あつてのコミュニティバスです。また、予算もかなり難しい状況であり、コミュニティバスも便数を減らさなきゃだめかなという案も持っております。そういうところも忌憚のないご意見を皆さんから頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。

委 員：タクシーチケットは非常に充実していると思います。あくまでお客様のご要望ですが、初乗りの金額が上がったこともあり、タクシーチケットを一度に3枚使えませんかという声を多くいただいております。

委 員：ありがとうございます。ご意見として承ります。その辺りも考えてはおりますのでよろしく願いいたします。

会 長：ありがとうございました。お近くの方やお客さんからの声もあげていただくのもこの会議の場だと思いますので、どんどんあげていただければと思います。さて、他に何かご意見ございますか。

委 員：10 ページ「④コース別住居自治会・町内会」というところで、西コースでは町外が33.7%を占めているというところが少し気になるデータかと拝見しました。これは何か考えられる利用の仕方とか、何かしらイメージされているところはありますでしょうか。

事 務 局：この町外の詳細を見てもみますと、やはり通勤が多かったです。あと、南岡山医療センターに町外から来られる方が結構多く、企画課にもバスでどうやって行ったらいいですかというお問い合わせもあり、通勤と通院が多かったということになります。逆に、観光とか遊びに来たなどはなかったです。日曜日はコンベックスでイベントをやっているの、そういう方が町外からコンベックスに行く方はおられますが、町内で降りて散歩などする方は見受けられなかったです。

会 長：ありがとうございます。ではこの件はここまでにしたいと思います。次に、議題(3)コミュニティバスの運行時刻改正についてということで、事務局からご説明をお願いします。

(3) コミュニティバスの運行時刻改正について

<事務局から資料について説明>

◇質疑応答・意見

会 長：ただいまご説明いただいた内容につきまして何かご意見・ご質問ございますか。基本的には JR の時刻に合わせるということ、渋滞状況により間に合っていないものを適正な時刻に変えるということだと思います。あともう一つが塩津は実際に利用者がいないということでした。皆さま何かございますか。よろしいでしょうか。特にご意見ないようでしたら、これは協議事項でお諮りする話になりますので、皆さまに承認いただけるかどうかお伺いすることになります。ご質問ございませんか。

専 門 員：塩津のバス停を省略するのはコンベックス行便ということですが他の便は乗るので残しているということでしょうか。

事 務 局：以前から交通会議では塩津のバス停が利用少ないから省略した方がいいのではと委員さんからご意見もいただいていて、昨年も同じように利用が少ない塩津のバス停を省略しています。今はかなり少ないのですが利用がある便は残っていて、利用がかなり少ない、または全くないところを削っているような形となっております。前は2、3人利用がありましたが今回は全くなかったので12便はスキップして運行したいということです。

専 門 員：わかりました。ありがとうございます。

会 長：ありがとうございました。他に何かございますか。では今回の事務局からの提案につきまして承認いただける方、挙手にて意思表示をお願いしたいと思います。

<挙手多数>

会 長：では承認ということで手続きを進めてください。

4. その他

〈その他意見等なし〉

5. 閉会